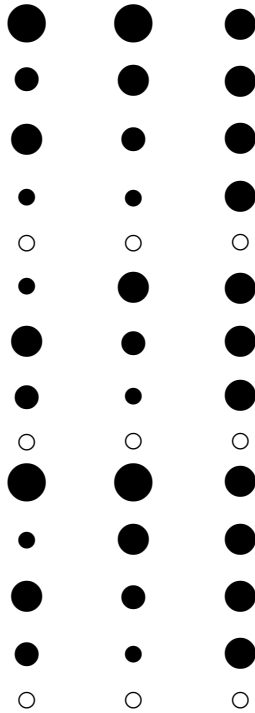


如●我●聞●一●時●佛●在●舍●衛●國●

これは読誦の最後まで守り続けられなければならぬ鉄則である。従つて次の様な読み方は、共に正流とすることはできない。



右は一句一句の勢いについて述べたのであるが、一字一字も音頭は細く、音胴が太く、音尾に至つてさらに太くといったように、発音されていくのである。

要するに雨だれ拍子とは、一字一字もピラミッド型、一句一句もピラミッド型というようになるのであつて、このような読み方ができてこそ、初めて三界の大